

週間市場レポート (2020年6月8日～6月12日)

1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/6/5	先週末 2020/6/12	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)	JP	22,863.73	22,305.48	▲ 2.44 ↘
TOPIX (東証株価指数)	JP	1,612.48	1,570.68	▲ 2.59 ↘
ダウ工業株30種平均 (ドル)	US	27,110.98	25,605.54	▲ 5.55 ↘
S&P500種指数	US	3,193.93	3,041.31	▲ 4.78 ↘
ユーロ・ストックス50指数	EU	3,384.29	3,153.74	▲ 6.81 ↘
S&P/A SX300指数	AU	5,968.27	5,817.35	▲ 2.53 ↘
上海総合指数	CN	2,930.80	2,919.74	▲ 0.38 ↘
MSCI AC アジア (除く日本)※		803.20	793.56	▲ 1.20 ↘
東証REIT指数	JP	1,719.57	1,716.68	▲ 0.17 ↘
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数	US	709.94	676.79	▲ 4.67 ↘
A SX300 REIT指数	AU	1,292.00	1,244.50	▲ 3.68 ↘
グローバルREIT (除く日本)※		169.03	160.48	▲ 5.05 ↘
日本10年国債 (%)	JP	0.05	0.01	▲ 0.04 ↘
米国10年国債 (%)	US	0.90	0.70	▲ 0.19 ↘
ドイツ10年国債 (%)	DE	▲ 0.28	▲ 0.44	▲ 0.16 ↘
英国10年国債 (%)	UK	0.35	0.21	▲ 0.15 ↘
ドル/円	US	109.59	107.38	▲ 2.02 ↘
ユーロ/円	EU	123.71	120.89	▲ 2.28 ↘
英ポンド/円	UK	138.83	134.66	▲ 3.00 ↘
豪ドル/円	AU	76.37	73.72	▲ 3.47 ↘
フィラデルフィア半導体指数		2,003.76	1,903.85	▲ 4.99 ↘
WTI原油先物 (ドル)		39.55	36.26	▲ 8.32 ↘
CRB指数		138.98	134.32	▲ 3.35 ↘
アレリアンMLP指数		900.39	789.83	▲ 12.28 ↘

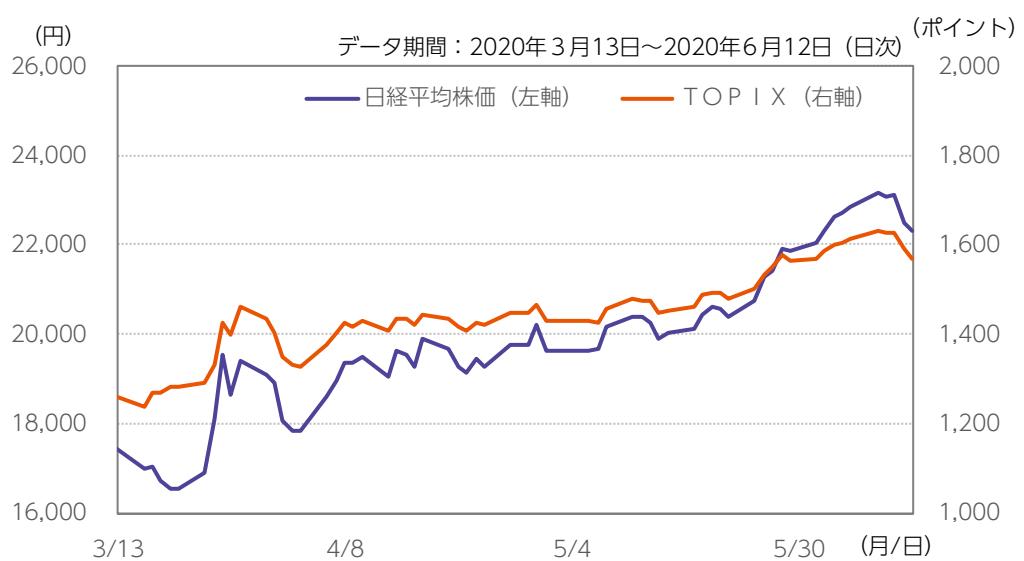
出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

2) 日本の株式・債券市場

『株式』

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落しました。

5月の米雇用統計が市場予想を上回る改善を示したこと、前週末の米国株式が上昇した流れを受け、週初はおよそ3ヵ月ぶりに23,000円台を回復しました。その後は、高値警戒感による利益確定目的の売りなどに押され、週末まで下落基調となりました。





『債券』

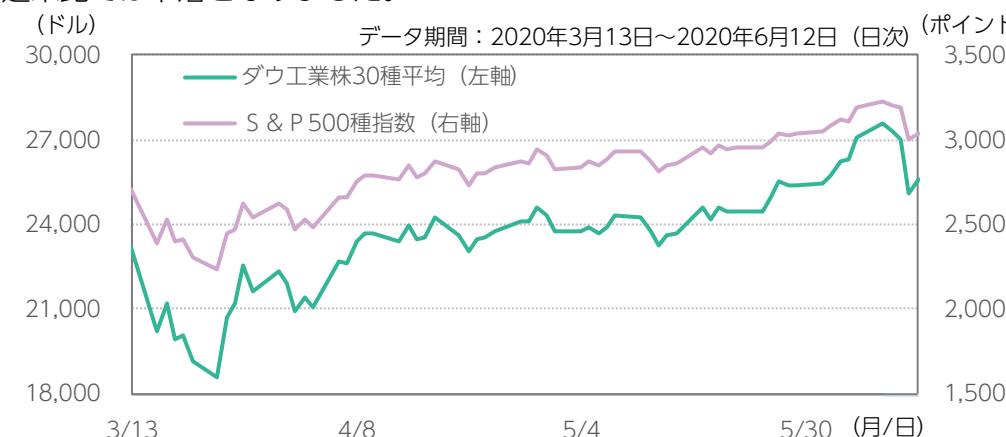
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。日経平均株価の下落を受け、投資家のリスク回避姿勢が強まつことや、米長期金利の低下などを受け、国内債券の利回りも低下しました。



『米国の株式市場』

『株式』

米国株式市場（N Yダウ）は前週末比で下落となりました。パウエル連邦準備制度理事会議長が米国景気の先行きに慎重な見方を示したことや、新型コロナウイルス感染第2波への警戒感の強まりなどを背景に大幅下落しました。週末こそ前日の大幅下落の反動から上昇したものの、前週末比では下落となりました。

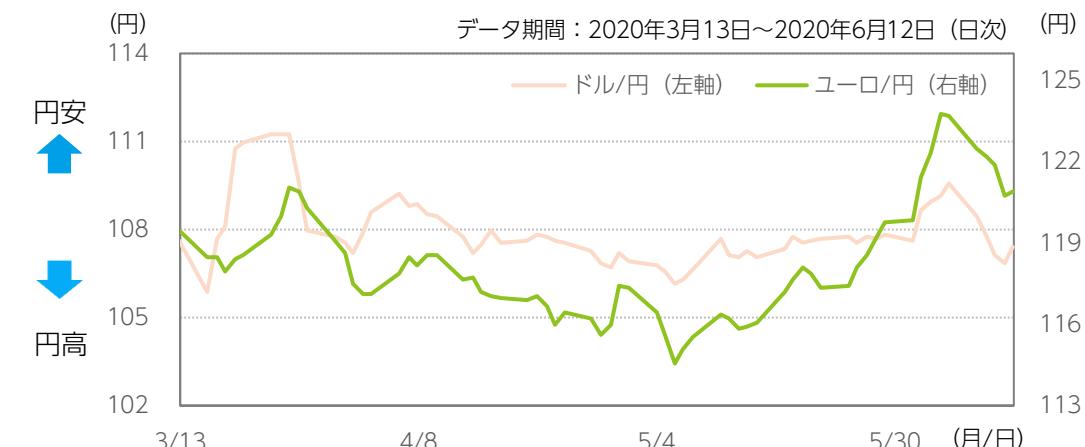


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。

米国で新型コロナウイルスの感染第2波への警戒感の強まりなどから、米国株式が大幅に下落し、投資家のリスク回避目的の円買いが進行しました。対ユーロでも、円買いユーロ売りが進みました。



5) 今週の見通しについて

先週は、米国内での感染第2波への警戒感の強まりなどを背景に、米国株式は前週末比で下落となりました。国内株式も高値警戒感から利益確定目的の売りなどに押され、前週末比で下落となりました。

国内では、11日（木）に東京アラートが解除されました。更に19日（金）には、接待を伴う飲食店などの休業要請も全面解除される見込みであり、経済活動の正常化への期待が高まっています。しかし、東京アラート解除日から4日連続で東京都における1日あたりの新規感染者数が20名超となっていることもあり、休業要請全面解除後の感染再拡大に警戒が必要であるとみられています。また、経済活動を再開した米国では一部の州において再び感染者数が増加しており、米国当局は外出規制の再導入が必要になると警告しています。

今週の株式市場は、引き続き米国内での人種問題をめぐる抗議デモの激化懸念がくすぶる中、米国や中国等における新型コロナウイルス感染第2波の動向などを確認しながら、方向感を探る展開となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘をするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506 (受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>